



あくね

第480号



大漁祈願

62年
新年号

明けまして
おめでとうございます



年頭のあいさつ

住民福祉の向上に努め

若者に魅力ある街づくりを

阿久根市長 川 畑 強

明けましておめでとうございます。
皆様御家族お揃いで輝かしい昭和六十二年の新春を元気で迎えられたこととお喜び申しあげ、皆様方のご健康とご多幸を心からお祝い申し上げます。

私は市長就任以来、二期八年間、職員と一体となり地方自治の本旨にのっとり、市民の皆様のご負担に応え、市勢の発展と市民福祉の向上のため最大の努力を続けて参りました。

お陰さまで皆様方の温かいご支援、ご協力に支えられ、阿久根市総合開発計画を基本に市政全般に亘り、概ね順調な進展をみる事ができて、更に向う五年間の後期計画を策定いたしましたことをご報告いたします。ふり返ってみますと、昨年は内外ともに厳しい局面に立たされた年であつたと思いますが、特に我が国の円高が急速に進展し、あらゆる面に影響を及ぼしており、その対策として内需拡大が計られました。成果は必ずしも景気の好転には結びつかず、なかなか厳しい年でありました。一方、政府の行政改革の一環として財政再建が強力に推進され、その影響は地方にも大きく影をおとし苦しい財政運営を強いられた年であり、阿久根市にとつても国立療養所阿久根病院の経営移譲という難しい問題が出されるなど、地方の医療問題にまで不安をいだかせる年でもありました。

しかし、一方では大きな台風災害等の被害もなく実りの秋を迎え、ま



た八年に一回開催される南方神社の神舞が地区民の結束で盛大に実施されたのを始め、長崎県野母崎町とのカーフェリー就航に向けての交流、或いは回を重ねる毎に参加者が多く盛況になってくるポンタンロードレース大会等、明るい話題も多く、苦しい中にも希望もありました。

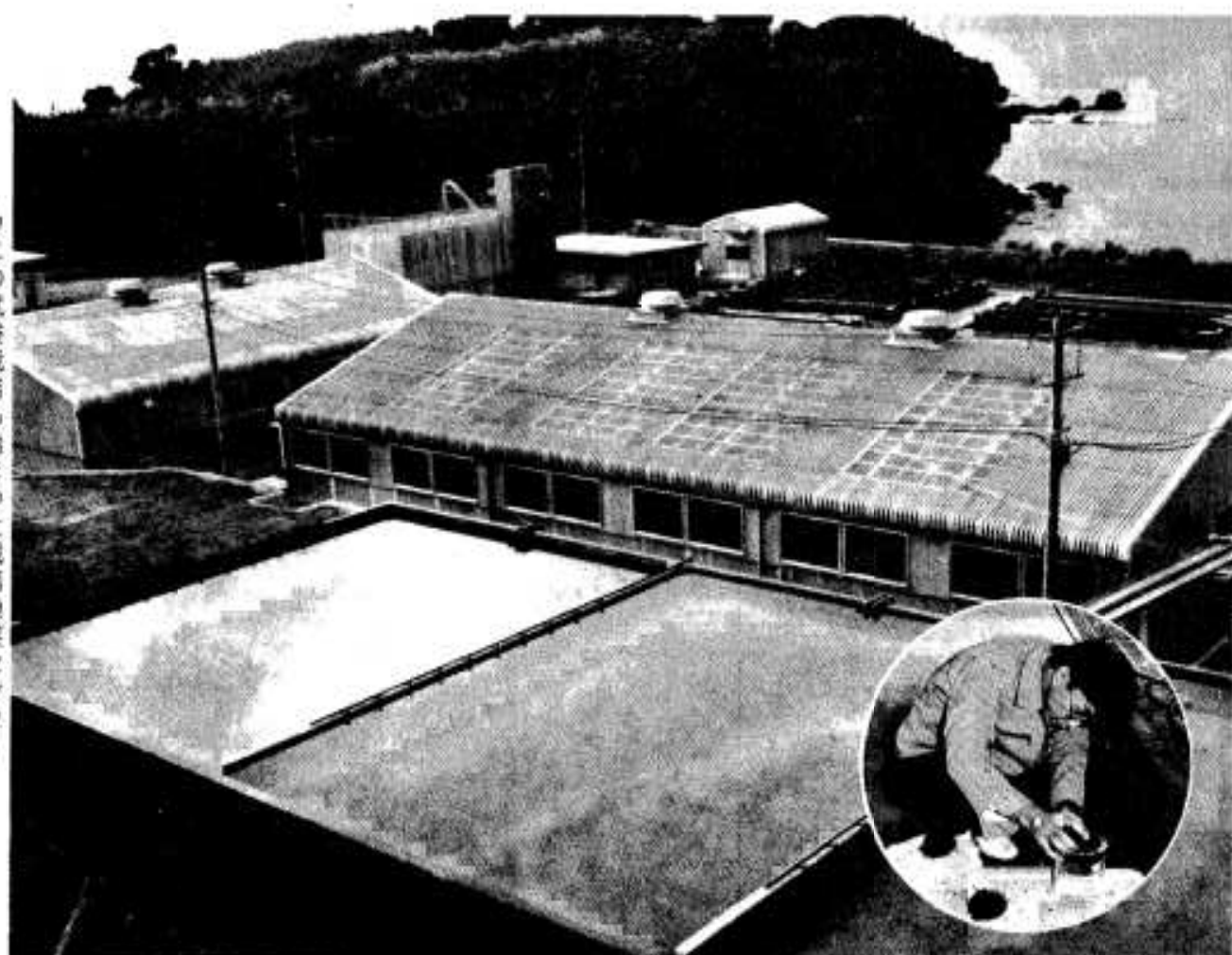
私も今期最終の年に当たり、市民の心を心として渾身の力を傾注して公約の達成に努めてまいりましたが、厳しい財政状況下ではありましたが、それでも国や県の適切なご指導ご協力のもと、当初計画いたしました諸施策や事業は概ね順調に進展して参りました。特に学校施設の整備充実は鉄筋化率八十一・二六パーセントになったのを始め、市道の舗装は九十三・五九パーセント、栽培漁業センターの一部が作業開始、総合運動公園の整備拡充、臨本中央地区総合整備事業に着工、鴻土地地区画整理事業につきましても九月二十七日に知事の事業認可を受ける等、大きな成果を収めるとともに、地場産業の浮揚発展策といたしまして昨年十二月一日、(株)西友と業務提携を結ぶという新しい分野の事業にも着手、今後の新製品開発、販路の拡大に役立つものと期待いたしております。

新しい年も厳しい社会状況の中でありますが、景気の好転に期待しながら住民福祉の向上、青少年教育の充実等、諸施策の積極的な推進に努め、実施事業の早期完成のために努力いたします。また、近隣市町とも協力しながら北薩地域の産業経済の振興発展のための空港道路(県道阿久根東郷線)の早期完成、南九州発展の大動脈となります南九州西回り高速自動車道の建設、及び九州新幹線鹿児島ルート(の)の早期着工等、その実現のため積極的に取組んで参らなければならぬと思っております。

その外、地場産業の育成を計りながら企業誘致に努力し、雇用の場の確保に努め、若者に魅力ある街づくりに努めて参りたいと考えております。

終りに、厳しい財政運営の中ではありますが、市民の皆様方の負託に応え、従来にも増して行財政の運用改善に努め、ふるさと阿久根の浮揚発展のために頑張ります。

皆様方の御支援、御指導をよろしくお願い申し上げます。



ウニの試験栽培も始まった栽培漁業センター

産業振興に明るい展望

(株)西友と阿久根市が業務提携

特産品開発 販路拡大に大きな期待

阿久根市の産物、商品の開発や販路拡大を目的に、西武セゾングループ(株)西友と阿久根市の業務提携が十二月一日、県庁で鎌田知事(知事室)の立ち会いのもとに調印式が行われました。

阿久根市の産物、商品の開発や販路拡大を目的に、西武セゾングループ(株)西友と阿久根市の業務提携が十二月一日、県庁で鎌田知事(知事室)の立ち会いのもとに調印式が行われました。



調印を終え握手する(左から)川畑市長、奥山常務、鎌田知事—知事室

(株)西友 会社概要

- 本社所在地 東京都豊島区
代表取締役社長 堤 清 二
- 設 立 昭和31年
- 資 本 金 71億3,900万円
(昭和61年2月末現在)
- 事業内容 衣料品、家庭用品、食料品、サービスの総合小売チェーン
- 売 上 高 年商 7,664億7,500万円
(昭和60年度)
- 店 舗 数 170店(昭和61年2月末現在)
- 従業員数 17,410人(パートB,562人含む)
(昭和61年2月末現在)

- ①「阿久根市の農林水産品実情調査」を実施し、特産品開発の候補商品を選定する
- ②候補商品の具体的検討
- ③候補商品発展に対する技術の指導など
- ④商品化した製品に対する取引先の紹介、斡旋
- ⑤業務提携期間は昭和六十一年十一月一日から六十五年十一月三十日までの四年間とするが、期間延長等については協議し更新ができるなどとなっています。

川畑市長も「地方だけでなく都市でも売れる商品を開発することは、阿久根市の産業振興につながる大きな期待がもてるもので市民の皆さんにも協力していただきたい」と、話していました。



知事室で調印する川畑市長ら

第4回定例市議会

特産品開発業務委託料など計上

一般会計は二億一千万円を補正

総額八十億三千万円に

第四回定例市議会は、十二月十日から二十三日までの十四日間の会期で開かれ、議案十七件が上程され、いずれも原案どおり可決されました。

また、一般会計予算に二億一千二百二十七万五千円が追加され、予算総額を八十億三千五百四十八万四千円としました。

可決した主な議案は次のとおりです。

▼阿久根市奨学金貸付基金条例の

一部改正

奨学金貸付基金の利用拡大を図るため、基金の額を四千万円から

五千万円に改めるもの。

▼阿久根市立学校設置条例の一部改正

昭和六十二年四月一日をもって単人中学校を三笠中学校に統合するため。

▼阿久根市営住宅設置及び管理条例の一部改正

昭和本原に昭和六十二年二月一日から市営住宅を設置するため。

▼阿久根市国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険被保険者の昭和六十二年三月一日以後出産に係る助産費の支給額を十万円から十二万円に引き上げるもの。

なお、主な補正予算の内容については、鶴川内地区運動広場造成工事、脇本漁港改修工事増加分、特産品開発及び商品開発業務委託料、本町通り会街灯新設工事補助金、上原橋野線や牛之浜本之牟礼線など市道改良工事、高之口公民館建設工事補助金、総合運動公園整備工事不足分、総合運動公園用地購入、市職員給与改定分などです。



急ピッチで工事が進む野球場



明けまして おめでとうございます

阿久根市議会

議長
副議長
議員

富吉福蔵	山田政	山田勝	野口末一	中野勝雄	島中保	別府国義	新坂泰典	的場一男	築地新格	児玉利彦	京田勇	竹原勇	田上正	中村健一	若松富春	迫口保雄	河野義夫	磯畑敬治	牛之浜水雄	梶尾孫兵衛	坂元竜馬
------	-----	-----	------	------	-----	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	-------	-------	------

(議長、副議長を除き議席順)

知恵を出しあい前進を



市長を囲んで新春座談会

皆さんにとって昨年ほどのような一年だったか。すばらしい一年だったか、思われた方もいるでしょう。中には、いや、反省すべき点が多かったと、感じられた方もいるかと思えます。しかし、その反省があつてこそ進歩があり、今年にかける抱負などが生まれてくるのではないかと思います。

さて、一昨年、昨年と「ふるさとリターンシリーズ」で掲載しました農業、漁業、観光のそれぞれの立場で、先頭にたつて活躍されています六人の方々に集まっていたいただき、二十一世紀に向つての抱負や夢などを語っていただきました。

司会 新年明けましておめでとう
ございます。

お揃いで希望に輝く良いお年を
お迎えのことと思います。

今年のエトはウサギであります
が、ウサギは人間に身近な動物で
ございます。昔から物語にもよく
登場して人間に親しまれている動
物ですが、印象といたしましては、
おとなしい平和なイメージが強い
ようでございます。

国際環境にしまして、国内の
状況にしまして課題が山積して
いる状態で、厳しい状況でありま
すが、どうか本年は平和で平穩な
活力のある年でありますように希
望したいものです。

それでは、早速「広報あくね」
恒例の市長を囲んでの新春座談会
を各界代表の方々に集まりいた
だき、阿久根市の将来の展望や今
年にかける期待など、あるいは個
人としての夢など新春の楽しい話
らいをしていただきますかと思いま
す。

初めに、川畑市長から年の始め
にあつたのあいさつをお願いし
ます。

市長 皆さん、明けましておめで
たうございます。

私は市長就任以来、調和のとれ
た活力ある阿久根をつくりたいと
いうことを理念として、市政を進
めて参っております。

そのためには人口増や働く職場
の確保と同時に所得の向上も大事
であります。

人口については、流出がゆるや
かになり、現状はここ数年ほぼ平
行線をたどっており、落ち着いて
きた状態ではないかと思えます。

また、所得については県の統計
によりますと、県下九十六市町村
の中で昭和五十六年には三十九位
五十七年には十七位と大きく延び
てきております。

このことは市民の皆さんが、そ
れぞれの持ち場を大事に守りなが
ら努力していただいている総合力
の発揮ではないかと思っております。

座談会出席者 (敬称略)

- 阿久根市長 川畑 強
- 阿久根市農業協同組合長 上野 時義
- 三笠町農業協同組合長 西田 福七
- 阿久根市漁業協同組合長 浜崎 宗人
- 黒之浜漁業協同組合長 洲崎 喜郎
- 阿久根商工会議所会頭 若松 光仁
- 阿久根市観光協会会長 下 蘭 泰兵衛
- 阿久根市総務課長(司会) 川畑 文平

農業では、今後は作った物を売
るというのではなくて、売れる物
を作るという考え方に、水産業も
とる漁業から、つくり育ててとる
漁業への転換時ではないかと思っ
ています。

加工業もみんなで力を合わせて
活性化を考え、観光についても阿
久根にもう一回行ってみたいとい
う観光地づくりをめざさなければ
ならないと思っております。

なお、昨年十二月に西友との業
務提携を行いました。今後の阿
久根市の産業発展に大きく期待で
きるものと思っております。

司会 ただいま市長から阿久根市
の現状や将来への展望などについ
て話されましたが、今度は皆さん
方が各界の代表としての立場から
抱負や展望などをお聞かせいた
だきたいと思えます。

魅力ある農業づくりをめざす



上野時義さん

上野 現在の農業は円高や輸入の
問題で大変厳しい状況におかれ
ています。

現在、私たちが一番心配してい
るのは輸入の関係で本年度から始
まります減反政策であります。農
業団体として、どう解決してい
くか難しい問題であります。国内
で食べる食糧は、国内で生産して
いくのが原則だということを守り

21世紀に向かって



訴えなければならぬと息を吐きます。一番望みますことは流通問題ですが、西回り高速自動車道などの早期実現に向けて努力され、交通整備が図られなければならないと強く感じており、また、西友との業務提携も行われましたが、農家の皆さんにどう密着させていくかが今後の課題ではないかと考えております。

農業も高齢化が進んでいますので、基盤整備なども図りながら農村型工業団地の育成などにも努めなければならぬと考えています。なお、集落の連帯感、市民の連

帯感により阿久根市の発展をめざさなければならぬと思っております。



西田福七さん

西田 今、だされましたように農業は厳しい状況におかれています。

農家は何を作ったらいのかと悩んでいる中で、現在、臨本地区では実エンドウ生産に力を入れておりますが、やはり厳しい状況を

迎えております。今後は質の良い実エンドウづくりを指導し、市場にださなければ消費者に買ってもらえないと思っております。

また、農地の基盤整備などを行いながら、若い人たちがこの営農作業場を作つてあげ、将来は自分だけの農業づくりの道を見つけてやり、夢を持たせる魅力ある農業づくりをめざさなければならぬと思っております。

なお、地域の中で村づくり運動も進めていますが、その成果も着々と進んでおり、昨年は農業祭りも行き、地域ぐるみの連帯感づくり事業として成功だったように思っています。もちろん今後も続けて参りたいと考えています。

観光を発展させ商工業にも活気を

司会 厳しい環境下にたたされてある農業について、厳しい状況の中でも夢をもった農業の展開についてが知りたいと面農協協長さんが話されました。下面観光協長さんには特産品協会長もされてお

り農業も関係があるのではないかと思います。阿久根市観光協会長としての抱負をお聞かせ願いたいと思います。

下園 先ほど今年がウサギ年だといわれましたが、ウサギは大変す

ばしい動物であり、そのウサギのように現在はスピード時代であります。このスピード時代についていかなければと残り残されてしまっています。

観光についてもどうでしょうか。今、観光も変わってきてつあり、中でも「見せる工場」が大変人気があるということですね。

観光客は、ただ景色を見るだけではない、何かのためにやるものを、という傾向にあります。



下園泰兵衛さん

阿久根市にも他の地方には見られない企業が多くあり、これらの企業に協力していただき観光のひとつとしなければいけないと思っております。

この他に、現在計画されています遠見ヶ丘の公園に、電車からも見える所に五十層ぐらいの滝を作るとか、また、元島まで海を埋め立てられると聞いていますが、それにトンネルを掘り、潮流を利用しての水族館を作ったりしたら観光客が多くなることはまちがいないと思っております。

西友との業務提携が行われましたが、地場産業育成の面からも早く取り組み、ルートに乗せていただきたいと思います。このことが経済の浮揚となって観光面にも大きく期待がもてることだと思います。

司会 阿久根市の商工業は農林水産業に大きく影響を受けるわけですが、このような厳しい状況の中で、商工業としてはどのような浮

揚策をもっていくべきなのか若松
会頭さんに伺います。



若松光仁さん

若松 商工業は、何といいましても人口の増加と人を集めること、また、農林水産業の生産性の向上、市民の所得向上により繁栄するものであります。

会議所は、会員の指導が主体であり、現在の環境の変化に合わせ

稚魚の放流などを実施し 漁民の所得向上を！

司会 それでは次に、農業と並ぶ阿久根市の重要な産業であります水産業について話を伺います。

洲崎 ある夢を見ました。漁船でタイなどが多くとれた。やはり食べれば食べるには心配はないし、これなら後継者に心配しなくてもよいだろう。しかし、港に帰ったら水揚げ場がせまくて船も入れない状態であり、これでは魚も売れない。どうしよう」と、思った時、目が覚めました。



洲崎喜郎さん

私も組合長に就任してまもないわけですが、今の夢でもおわかり

ていくことが必要だということ、今、盛んに申しあげているところですが、現在の消費者人口では商工業もなかなか先行投資ができません状態です。

そこで、長期的な展望にたつて阿久根市に人が集まっていくような名所を作る計画をたてていただきたいと考えており、また、行政も市民の所得が増えるという方向に、公共事業への投資が必要ではないかと思つておるところです。それから、長崎県野母崎町との航路については、長崎県鹿島郡の経済浮揚の拠点として実現できるような努力していただき、商工会議所としても全面的に協力していきたいと思つておるところです。

になるように、黒之浜に新港を作つていただきたいという強い希望をもつております。また、稚魚の放流も考えていますが、組合でやるにすれば多額の資金が必要となりますので、行政からの援助もお願いすると同時に臨海部の環境についても公害が起きないように指導していただきたいと思います。

私も組合長として、漁民のために役にたきたいという気持ちでいっぱいであり、指導をいただきたいながらがんばろうと思つておるところです。

浜崎 私は、市の発展は市民の所得向上こそが最も大きなものであると思つており、その意味からしても私は漁協長として、今、漁民はいくらぐらいの所得があるのだろうかかと、いつも心配しておるところですが、二百カイリが設定されてから漁場がせまられ、沿岸漁業者も苦しいところだと思つておられます。

私は、その入たちのために漁場の造成や稚魚の放流などに積極的に取り組む、所得向上を図つてやらねばと強く感じているところです。

栽培漁業センターではウニの試験栽培も始められています。これも所得向上に大きくつなげるものと、漁民の皆さんも大変期待し喜んでおられます。



浜崎宗人さん

また、私の夢であります。自分のでつた魚に自分で値段がつけられるような社会ができたならなあ、いつも思つておられます。これは、永久にできないことであると思つておられます。それに近い状態に持つていきたいものだと考えており、同時に魅力ある町づくりにがんばりたいと思つておられます。

二十一世紀に 向けての 発展策は！

司会 皆さま全員に、団体長としての抱負などを語っていただきましたが、今度は阿久根市の二十世紀へ通ずる発展策を述べていただきたいと思つておられます。

浜崎 私は、各団体がそれぞれの目的達成のために努力して進むことが市の発展につながるものではないかと思つておられます。そのためにも生産者、加工業者、販売者が

それぞれの立場でがんばつていかなければならないと思つておられます。洲崎 私もそのように思つておられます。そのためにも各団体が力をつけるように行政からも指導援助をお願いし、各団体が活力をもつて進むなら道は自然に開けてくるのではないかと思つておられます。

司会 各団体が力をつけていかなければならない。また、そのためには行政からも援助してほしいということであり、川畑市長は就任以来その方向で市政を進めておいでになると思つておられます。どうでしょうか。

市長 ありがたい意見が多くありますが、やはり行政が主体であり、今も話があつたとおり各団体が自力をつけることが大事ではなからうかと私も思つておられます。

その中で、農業を例にあげてみますと、基盤整備は市で行つていただきますが、その後の生産等につきましては農協と農家の皆さんがお互いに知恵をだしあい努力していただかなければならないと思つておられます。この意味からして連帯感をつくることも必要ではないかと思つておられます。

若松 市にお願ひがありますが、昨年、阿久根市が「海水混合沿岸漁場開発計画調査事業」に国から指定されていますが、多分これは何か大がかりな事業も実施され



2年新年度議会

活発な意見がでた新春座談会

情報を先どりして市の活性化を

るのではないかと思っていますので、市としても積極的に取り組んでいただきたいと思います。下面、私は観光の面から申しあげますと、観光の町として、いかに阿久根の名前を知っていただくか、

上野 二十一世紀に向ってということでありますが、現在、情報化社会が大きく進んでいます。市民や国民が知らない間に世の中ほとんど変わっていきませんが、私は教

そのことを強く考えています。そのために報道関係者の方々にもよく来ていただいております。またマスコミ等を通じての観光宣伝も積極的に取り組みたいですと思っています。るところです。

育的な面から追いついていけるのかと心配しており、阿久根市は情報化社会に遅れているのではないかと考えています。

そのためにも、中央にいる市内在住者との交流を深め、新しい情報を得ながら阿久根市の活性化を図らなければならないと考えています。

また、長期的な展望から一年に四回ぐらい生産可能な大きなガラスハウス等を設置する時代が、すでに来ているのではないかと考えています。それには膨大な資金が必要であり、長期的な資金運用があればと願っております。

それから私の夢は、現在、阿久根市には老人福祉センターや老人ホームなどが多くありますが、このような福祉施設を集めて、阿久根市を福祉の町にしたらということとであります。

西田 西友との提携も行われましたが、今後農作物も質の良いもの

を作り、そして消費者にも阿久根の品物でなければ買わないと、言わせるような努力をして参りたいと思っています。



川畑市長

若者からお年寄りまで一緒に進んで!!

市長 大変貴重な意見を伺いましてありがとうございます。情報網の問題も出されましたが、

私も大事なものだと思っております。お互いにいろいろな情報を速やかに収集し分析しながら対応していかなければならないと思っています。

農林水産業にしましても二十一世紀に向けて新しい技術の導入などを真剣に考え、流通の問題においても改善をしなければならぬ時代に来ているのではないかと考えています。

お互いにそれぞれの立場で努力され、後継者育成も図りながら、生産性向上と所得向上を若者からお年寄りまで一緒に進んで進んでいただくよう、皆様方のより一層のご協力をお願いします。



川畑総務課長

司会 今後とも各界、各団体それぞれ密接な連携を図りながら市政の浮揚発展のためにご協力くださいますようお願い申し上げます。本日の座談会を閉じさせていただきます。

人 □	住民基本台帳人口と世帯数
	12月20日現在
	(12月1日から)
人口	29,646 (+48)
男	13,800 (-6)
女	15,846 (+54)
世帯数	10,032 (+29)

出生児	保護者	区名
富士	沙莉	良次 (遠見ヶ丘)
田原	淳美	美行 (米次)
富沼	千晴	吉典 (高之口)
岩切	愛子	幹夫 (高松)
寺園	優美	陽一 (大下)
未古	真子	洋治 (遠矢)
川畑	真美	修 (新町)
田中	めぐみ	優二 (丸内)
東園	麻美	俊美 (濁)
岩切	のどか	義昭 (大尾)
奥平	慶子	正一 (仲仁田)
野村	さと	秀作 (高松)
牧内	寛弥	昭徳 (牧内)
濱崎	恵美	米郎 (浜)
尾崎	愛	力雄 (新町)
伊藤	麻美	廣美 (尾崎)
尾山	佐樹	三継 (弓木野)
		(上原)

誕生
おめでとう

地場工業団地

地場資源を活用した

「畜産」「水産」加工企業を

県工業開発指導調査

県内の工業開発や企業導入の方策等について、指導助言が行われるための現地調査が昨年の十一月二十六日、二十七日の二日間行われました。

調査地は県内で三か所。その中

に阿久根市の湯東部地区も調査指導地としてあげられ実施されました。

指導員は石井秀平氏ら五人。現地で市が説明をしたあと、指導員の方々から活発な質問がなされ、翌日の二十八日、県庁で指導内容が発表されました。

その主なものは次のとおりです。
①市街地に近接し、国道二号線沿いにあるなど通勤や輸送に便利である。

②工場導入業種として地場資源関連として畜産加工、水産加工などの工場や、出水、川内地域に立地している電気機械などの関連企業の立地。

③地場資源を活用した産業おこしのな閉地として機能させていくことも考えられる。

なお、当地が早期に企業立地を進めるためには区画整理や進入道路の整備などがあげられると、話されています。

▼工業開発指導員 (敬称略)
石井秀平

(日本自転車振興会監事)



指導員からいろいろな質問がでた現地説明会



完成した「コミュニティ新町」

話し合いや活動の拠点として利用

「コミュニティ新町」が完成

片岡純一郎 (麒麟麦酒株式会社専務取締役)
高永孝雄 (三洋電機株式会社取締役東京支社長)
向川原 徳助 (フレーザー工業株式会社専務取締役)
峯川 三郎 (旭化成工業株式会社専務取締役)

昨年の七月から建設が進められていた「コミュニティ新町」が完成し十二月十四日、落成式が行われました。
これは全国自治会くじの普及広報事業のひとつとして、宝くじ受託事業収入を財源とするもので、住民のコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るために建てられたものです。
同建物は事業費約四千万円で、鉄筋コンクリート造り二階建、面積は約二百五十平方メートルです。
一階は大会議室など、二階は子供供会室や婦人会室、調理研修室などがあり、新町区の話し合いの場やいろいろな活動の拠点として利用が図られ、区民の皆さんも大変喜ばれています。

「ごめいふくを お祈りします」

死亡者 年齢区名

川畑 重志	63 (川畑中)	ユキエ
内野 久子	46 (波留)	トモエ
跡上 種一	70 (黒之浜)	休三
脇崎 タミ	70 (臨本浜)	末雄
松本 武士	69 (上原)	不二男
下園 セツ	60 (尻無上)	賢志
若松 勝栄	75 (大丸)	サカエ
倉津 千加	84 (倉津)	栄三
徳重 直衛	89 (新町)	仁史
松山佐右衛門	80 (古里)	教生
藤オトギク	91 (遠矢)	純雄
小村 ミ子	70 (瀬之下)	光広
宮田 秀吉	67 (波留)	エイノ
脇園 ハル	85 (波留)	熊助
上野 義衛	65 (折口東)	政信

計量器の検査

2月18日から25日まで

計量法に基づく計量器の定期検査が2月18日から25日まで実施されます。

- ▼2月18日 大川出張所 10時から14時 農協牛之浜支所 14時30分から15時30分
- ▼19日 飛松公民館 10時から11時30分 三笠町農協集荷所 13時から15時
- ▼20日 三笠町農協集荷所 10時から15時
- ▼23日 24日 25日 中央公民館 10時から15時



新装された阿久根駅(上)と壁画(左)



モダンな 阿久根駅に新装

壁画などイメージ一新

鹿児島県鉄道管理局が利用客との密着を図るねらいで行われていた阿久根駅の改装がこのほど完成し、十二月八日、駅正面に設けた壁画の除幕式が行われました。

これは、鉄道管理局が駅の改装に伴い、観光PRに役立ててほしいと正面入口の左の壁を提供し、市と商工会議所が募金活動をはじめ製作されたもので費用は五十四万円。

壁画のデザインは、阿久根市のシンボルである「阿久根大島と鹿ポンタン」があらわされています。除幕式には関係者など約五十人が出席、豪華保育園児の楽器演奏などにより、にぎやかに行われました。

また、駅舎は白で統一されており、モダンな感じの建物になっています。駅舎の左側は、前の事務室を一部改造され会議などにも利用できるコミュニケーションフロアになっており、利用者からも大変喜ばれています。

ばれ阿久根駅にも活気がでてくるのではないかと思います。

福祉向上のため がんばってください

新しい民生児童委員決まる

新しい民生児童委員が決まり、このほど委嘱状が交付されました。任期は昨年十二月一日から六十四年十一月三十日までの三年間です。

民生児童委員は、生活で困っている方や体に障害のある方、母子家庭などの身近な相談相手となり、行政機関と連絡調整を図りながら福祉向上のためにがんばっていただく方々ですので、困ったことなどがありましたら相談されるようお願いいたします。

民生児童委員の方々には次のとおりです。(一)は担当区 敬称略
中村千加男(波留)池上博義(大丸・遠見ヶ岡)寺下竹雄(高松)河南ミキ(町)浜崎雅(浜)富園岩蔵(上野)富水敏治(新町)浜崎充伸(寺山)倉津實(倉津)石堂和徳(濁)大尾速(段)大尾幸男(大尾)宇都ミキ(牧内・東牧内)新坂盛雄(中村)中津浜清(浦)猿楽辰雄(佐濁)西田一治(高之口)尾上重義(飛松)西園敏(柳)牛浜貞美(落)伊光喜



川畑市長から委嘱状を交付

(馬見塚・大川島)川路時義(遠矢)園田朝一(山下馬場)有田佐四郎(尾崎)神之田喬(弓木野)中平次男(折口東)吉田次雄(車田・大林)松尾直義(永田上・下)大下本松夫(内田・大下)池脇悖雄(丸内・陳之尾)児玉利彦(上桑・下桑・木佐木野・長谷)上村伝蔵(梅・羽田)中村宗雄(宮原・横手・荻野)尾原純雄(尾原・米次)田代重則(田代中・下)岩崎知止(本之牟礼)牛之浜肇(牛之浜)的場秋徳(仲仁田)中野英四

市営住宅 入居者の 募集をします

市では、これから空家になる市営住宅と、現在臨本に建設中の上原住宅入居者の募集をします。

上原住宅は、家賃月額、方千五百円で六畳二間と四畳半、風呂場、風呂釜は含まず、便所となっております。

入居を希望される方は一月十六日から二月十日まで市都市計画課建築係にお申し込みください。

部(中屋敷)楠出数美(的場)花田房義(川畑中・川畑)寺地伊佐夫(尻無上)尻無助太郎(尻無中)橋本・尊(尻無下)赤崎典夫(脇馬場)松木宗熊(脇本浜)榎木時男(下村)宮原範子(上原)東山忠郎(筒田)笹原義雄(桐野上)大野一義(桐野下)京田長美(瀬之浦上・大淵川)松本正雄(瀬之浦下・笠山)山田昌江(吉里・松ヶ根)近藤武(松之浦東)赤木義南(橋之浦西・深田)富浜徳衛(黒之浜)太田泰雄(黒之上・大谷)大野澄義(大渡)八郷エイ子(小渡・八郷)

第3回

あしねボタンのロードレース大会



東京オリンピックマラソンランナーだった
平沼孝先生の講演会



参加者を代表して選手宣誓する
馬見新正義さん



兵庫県から参加された天下本辰男さん



接待に活躍した婦人会



川内市の水戸黄門様
御一行も参加



鹿兒島実業高校の駅伝部員も参加

大塚眼科	720306 (浜)	石原医院	750045 (柳之浦)
内山病院	731551 (高松)	平医院	752626 (古里)
2月15日		2月8日	
堀切産婦人科	720263 (高松)	上野医院	720420 (町)
田中外科	730553 (大丸)	上園医院	731055 (町)
2月11日		2月1日	
黒木外科	750200 (下村)	有村産婦人科	734180 (栄町)
2月8日		北国外科	720016 (町)
林胃腸科外科	733639 (大丸)	臨本病院	752121 (柳之西)
浜之下医院	752600 (脇馬場)	阿久根内科	720578 (琴平町)
2月1日		1月25日	
喜多医院	720038 (大丸)	石原医院	750045 (柳之西)
1月18日		1月15日	
筒井耳鼻咽喉科	720040 (栄町)	大塚眼科	720306 (浜)
大塚眼科	720306 (浜)	内山病院	731551 (高松)
内山病院	731551 (高松)	平医院	752626 (古里)

在宅医さん

在宅医の診療時間は午前九時から午後五時までです。急患の方以外はご遠慮ください。



ポンタンも選手を応援

約1,500人参加 新春に向かって 力走!

今年で二回目を迎えるポンタンロードレース大会が十二月十四日、総合運動公園、鶴川内、多田内田間のコースで開かれました。

大会には、兵庫県、宮崎県、熊本県からも来られ、前回は大きく上回る約一千五百人が参加。

開会式は前日の夜開かれ、大会会長の川畑市長が「小学生からお年寄りまでご家族や友人と一緒に健康増進のためにマイペースで走ってください」とあいさつ。このあと東京オリンピックマラソンランナーだった寺沢徹先生が「マラソンと私」と題しての講演会が行われ、参加者たちは熱心に聞いていました。

いよいよ午前十時、小学生三、三十分、一般の三時、十一時に十時、五分後に五時と次々にスタート。

市婦人会の 接待に 参加者も感激

ゴールした皆さんは、市婦人会が作ったふかし芋やイワシの塩焼きなどをおいしそうに食べ、閉会式も遠来賞やふれあい賞などが贈られ、また来年も参加し合いましたよと和やかなうちに終了しました。



疲れたけど満足



走った後のふかレイモは最高



にぎやかな応援の中を快走



給油所の日曜当番店

- 1月18日
阿久根石油(鶴見町) ☎0318
寺下石油(橋之西) ☎2077
- 1月25日
阿久根石油(馬場) ☎0038
丸善石油(新町) ☎0266
- 2月1日
落合石油(上原) ☎0055
南国殖産(鶴見町) ☎0362
- 2月8日
阿久根市農協(折口) ☎1302
阿久根石油(港町) ☎2430
- 2月15日
折口石油(折口) ☎0251
阿久根市農協(波留) ☎0075

あなたも

アマ無線技士に

日本アマチュア無線連盟主催による「電話級アマチュア無線技士養成課程講習会」が次のとおり開かれます。

- ▼期間 2月2日、11日
- ▼時間 午後6時～9時45分
- ▼場所 市民会館
- ▼定員 70人(定員になり次第締め切ります。)
- ▼受講料 一万九千円
- ▼申込・問合先 新戸忍 ☎0345 寺岡薫 ☎2821まで



広場

731211内214へ



むかしのこどもの
あそび ④3

かごめかごめ
かごめ かごめ と歌いながら
おにの周りを回り「後ろの正面だ
あれ」と、とまって しゃがみ
おにに 後ろの人の名まえを当て
させます。
当たったらその人がおにになり
ますが、当たらなかつたらまたお
にを続けます。

市産業祭 大盛況

市内の産物を一堂に集め展示販売される恒例の産業祭が12月20日、21日の両日、市民体育館で開かれました。

産業祭には新鮮な野菜など市内のほとんどの産物を安く販売。また、お祭り広場では大声大会やのど自慢大会なども行われ、多くの市民が楽しみながら買い物をされ、にぎわいを見せていました。



ミニ産業祭で村おこしを

桑原城上区

鶴川内の桑原城上区では「村おこし、みんながリーダーになった気で」をスローガンに12月13日、公民館でミニ産業祭が行われました。

産業祭では、区民が持ち寄った野菜や手芸品などのセリが行われ、にぎわいを見せていました。



「安すぎる」野菜などのセリが大人気

三笠中部地区産業祭

地区民がこぞって参加し、ふれあいを深めながら農業の発展を図ろうと12月4日、三笠中部地区の産業祭が古里公民館で開かれました。

午前中は丹精こめて作った大根などの農産物や、奥さん方の自慢料理の品評会。午後からは、それらをセリにかけ新鮮なうえにあまりにも安いいため飛ぶように売れ、にぎやかな楽しい産業祭が行われていました。





みんなの

行事・催し物など
お寄せ下さい。

歩きながら郷土の歴史を学ぼう

脳本地区史跡めぐり歩け歩け大会

健康を保ち、ふれあいを深め、郷土の歴史を勉強しながら歩きましょうと12月7日、脳本地区で史跡めぐり歩け歩け大会が行われました。

参加者は小学生からお年寄りまで約150人。脳本小を出発し、いろいろな史跡では赤木義衛教育委員長の説明を熱心に聞きながら冬の1日体力づくりに励んでいました。



恵まれない人のために 「もちつき大会」

駅前通り会



駅前通り会平塚正人会長のチャリティ「もちつき大会」が十一月十三日、駅前通りで行われました。このもちつき大会は今年で三回目。ついたもちを売り、その売上金を恵まれない方々に贈られるもので今回は市社会福祉協議会などに約七万円募金されました。

私の体力年齢いくつかな!?

婦人会体カテスト



市婦人会員の体力テストが十一月、婦人会組織のある四地区で行われました。これは会員の健康づくりや体力づくりのために開かれたもので、立幅とびなど四種目を実施。終わったあとは体力年齢表と比較。ほとんどの方が首をかしげながら、明日から体力づくりに励まなければと感じられているようでした。

心ゆたかでたくましく幼児を育てよう

世代間交流学習会

「幼児の心をはぐくむ」世代間交流学習会が12月4日、中央公民館で開かれました。

これは青少年を健全に育てるためには幼児期からのしつけ、教育がたいせつなので、お互いに勉強しようといわれているものです。

参加者は幼児をもつ親など150人が出席。幼児をもつ親の代表などの体験発表などがあり、参加者はメモをとるなど熱心に聞いていました。



ハイ 元気だよ



橋口洋市ちゃん(二歳)
潟区
橋口勝廣さんの二男

「やさしく素直な子どもに育ててほしい」
悦子さん(お母さん)

がんばっています



大平るり子さん(21)
波留区
阿久根幼稚園勤務

「思いやりのある先生として、子どもたちから慕われるようにがんばります」



上平コミエさん(お母さん)とたまきちゃん

お母さんの手は、
ぶくぶくふくれて、
しなやかだけど、
かたくて、
たくましくて、
ぬれたりよごれたり。
私の手とは大ちがい。
私もはやく、
そんな手にならなくちゃ。
お母さんの手が、
しぼんでしまう前に。
もう少し、お母さん、
もう少し待っててね。

おかあさん ⑳
ありがとう

尻無下区

上平 たまき
(12)

図書館だより

「今月の新着図書」



▽南博「どんどん覚えて忘れない
記憶術・暗記法」▽白石浩「夫
と妻の生きがい学」▽花山勝友
「型破り幸福術」▽大塚美枝子
「女は25才からおもしろい」

<p>毎月二十日は 年金相談日です 国民年金協会</p>	<p>交通事故相談日 1月13日(火) 市民相談室</p>	<p>ワンちゃんの引き取り 1月14日・27日 2月3日・12日 午前10時～10時30分 保健センター</p>
--------------------------------------	---------------------------------------	--

▽五十嵐ふみひこ「国会がひとめでわかる本」▽鎌田要人「鹿児島ルネッサンス」▽アイアコッカ「アイアコッカの直言」▽高原須美子「女のマネーブック」▽毎日新聞社編「健康の時代」▽科学朝日編集部「身のまわりのほんもの・ニセモノ」▽中島みゆき「中島みゆき全歌集」▽北方謙三「牙」▽胡桃沢純史「ビネモス・のたり氏の名探偵」▽三浦綾子「雪のアルバム」▽森村桂「アリスの丘のケーキ屋さん」▽川西欄「ラブ・ソングが聴こえる部屋」▽犬養道子「日本人が外に出るとき」▽永六輔「六・八・九の九」

篤志寄付

次のかたがたから寄付をいただきました。ありがとうございます。また、

- 近畿地区阿久根会のレクリエーション大会で行われた郷土募金、四万一千六百三十円を寄付。
- 波留区の西村ミチ子さんから二十万円寄付。
- 国際ソロプチミスト出水支部から二万円寄付。

社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。(敬称略)

- 佐藤キタ(佐瀬)牛之濱スエミ
- ツ(牧内)山平悟(小滝)倉津栄三(倉津)松山フジ子(古里)脇崎末雄(橋本浜)安川英昭(潟)

自衛官募集の案内

- ▼応募資格
昭和六十二年三月、高校卒業予定者
- ▼試験科目
国語、数学、社会及び作文、口述試験、身体検査
- ▼募集期間
昭和六十二年一月一日から昭和六十二年三月三十一日まで
詳しくは市役所市民課まで



サークル紹介 39

阿久根A文協

心の財産を

良い文化に触れたいと願う仲間
の会で、昨年の夏に発足。(会長
齊藤洋三ほか30名)映画、演劇、
音楽、何でもござれと思っていま
す。「A」は阿久根のA、初めの

まるめた餅のことであった。

元旦の朝、神様や仏様、初日や
四方を拝み晴着姿でお膳の前に坐
る。上座から年上の順に並ぶ、昨
日とは変わったすがすがしさである。
いつもとは違って、子ども達も一
人前に大人と同じお膳が並べられ
る嬉しさ。

一つ歳をとった感じがする。む
かしは誕生日でなくて、正月に数
え年で歳をとったもので、大晦日
を歳の晩といった。新しく迎える
年も自分の歳もとることは一緒だ
った。

正月の御馳走のお膳には丸餅が
二つ重ねて置いてある。これがお
年玉であった。

二つ重ねるのは、太陽(日)や月
を表わすものだとわれ、また、新

A「文」は心のきずな文化、「協」
は小さい力を合せて大きな力に育
てる協で、会員は年齢、性別、職業、
思想に制限なくボランティアによ
り活動しています。

「象のいない動物園、夏の約束
ブッシュマン、ママごめんね」へ
の参加ありがとうございました。

今回はNHKテレビで放映され
た「筑紫美玉子」一座を迎え佐賀
仁(〇加を2月18・19日に公演しま
す。券を買った人も売った人も皆
仲間の「A文協」へあなたもどう
ぞ。(事務局 ☎0431)

しく迎えたこの年は、しあわせが
いろいろ重なりますようにという
願いがこめられてもいるのだった。

むかしの鏡は銅合金を磨いた丸
い形のものでしたので、むかしの
鏡をかたちどった餅を鏡餅という
ようになった。

鏡は心をうつすものでいつも美
しくなければならぬといわれ、
白餅は清らかで汚れのない心を現
し、一年間家族みんなが清らかで
汚れのない年になろうということ
だと聞かされた。

むかしは必ず親類回りをしたも
のです。行った家ではお年玉の餅
がもたらえた。よく網の上で焼いて
食べたが、ふっつとふくれる型が
またおもしろかった。

(郷土資料館 草原新)

阿久根歌壇

折田憲司選

(秀逸)
九十日の航海終り安らぎて佇む港
に城ヶ島見ゆ
愛媛 小島幸太郎

(評)
毎月投稿から水産高校の教官
らしい。実習訓練洋航海の大臣
を終えた安堵感が言外に滲んでい
る。船乗りにとって母港は母の懐
と同じなのである。

(佳作)
高原に広々と咲くコスモスは百万
の花いまさかりにて
桐野 竹原キミエ
音もなく降りるし雨に氣付かざり
さ紅葉濡れつつ静かなる朝
赤瀬川 海平 三蔵
病氣再発の不安におびえ生くる日
々目覚めて生の確かさを知る
常町 有田いちえ
時雨すぎ前の山裾はれしかば声さ
はがしく「つくみ」飛びゆく
藤本 宮原 範子
郷土芸能をこの子ら継ぐか鼓太鼓
たたきて校庭せましく踊る
藤本 赤崎 タエ

校門の近くとなりてマラソンの生
徒ら顔を競ひて走る
高松 勝日 悦子
子等の依頼の味増送りしが出来ば
えに不安がありて寝ね難くある
大林 春田 カオ
売りし田の大且対り採る親と子を
嵐日にブルトーカーが土を埋めゆく
愛媛 小島 和子
幼くに母を亡くして育ちしに父を
残して若く遊くとは
藤本 京田久美子
小春日の空澄みとほる下びにて野
牡丹の花むらさきに咲く
大丸町 橋崎 幸

教へ子に伴はれ来し押にて伊良湖
の茶屋に湘騒を聞く
本町 河南 節子
校庭に戦前よりあるフニックス
雨に濡れつつ幹太く立つ
赤瀬川 下田 京子
らつきようは薄むらさきの花咲き
て知はさながら光潔ふ
高松 川知 ヨツ
間引きせし知さ嶽(ふたば)の人
夢を刺めばあはれ強く香に類つ
上松 達夫 律
現実には生きねばならぬ厳しさぞ父
母に甘えの心を捨てて
本町 折田 順子



「お年玉」

正月にもらうお年玉はむかしは
錢ではなかった。年玉というのは

お知らせ

一月二十五日 投票

任期満了に伴う阿久根市長選挙

任期満了に伴う阿久根市長選挙は、一月十八日告示(立候補受付)一月二十五日投票(即日開票)が行われます。

投票時間は午前七時から午後六時まで

投票時間は、午前七時から午後六時までですが、第十投票所の田代小学校、第十四投票所の本之牟礼分館、第十七投票所の甲人小学校の各投票所は午後五時までの時間繰り上げとなります。

当日都合の悪い人は不在投票を

投票日の一月二十五日に、仕事の都合で出張されるとか、病気で



入院や出産予定などのため、白から投票所に行つて投票できない見込みの方は、一月十八日から一月二十四日までの間に、選挙管理委員会に不在者投票ができます。印鑑をご持参のうえお申し出ください。

重度障害者は郵便による在宅投票を

法律で定められた重度の障害者で、投票日に投票所に行つて投票することができない見込みの方は、一月二十一日までに選挙管理委員会に申し出ますと、郵便による在宅投票ができます。

この場合、身体障害者手帳等の交付を受けている方でないことできませんし、障害の程度にもよりますので、詳しくは選挙管理委員会にお尋ねください。

選挙権の住所要件

今回の阿久根市長選挙の選挙権のある方は、昭和四十二年一月二十六日までに出生した人で、昭和

六十一年十月十五日以前から阿久根市に居住し、住民基本台帳及び永久選挙人名簿に登録されている方です。

しかし、永久選挙人名簿に登録されている人であっても、選挙権の行使を停止されている人や、阿久根市を離れて寮や下宿などに居住し、大学等に通っている学生、生徒は、その寮や下宿が住所とみなされるため投票することができません。

入場券を紛失したら受付係へ

投票所の入場券は、一月二十日

建設工事入札の参加資格審査申請書を受付けます

二月二日から二十八日まで

昭和六十二年度の市の入札参加資格審査申請書を次のとおり受付けます。

- ▼受付期間 二月二日から二十八日まで
- ▼受付場所 市財政課(水道工事関係は市水道課にも申請書提出)
- ▼提出するもの
 - (1)建設工事入札参加資格審査申請書(様式一)
 - (2)その年の申出に係る建設業法施

項までに各家庭にお届けする予定ですが、投票日までの間に紛失したり、投票日に持参するのを忘れた場合は投票所の受付係にお申し出ください。

開票は即日

開票は即日、一月二十五日午後八時から阿久根市民会館で行われます。開票状況を参観される場合は、ヤジを飛ばしたり、物を投げ入れたりして、開票事務を妨げないよう指示や注意を守って参観しましょう。

編集後記

明けましておめでとうございませう。すがすがしい新春をお迎えのことと幸いです。

すがすがしいといいますが、つい先日、さわやかな光景に出会いました。

早朝、国道三号を車で走っていますと、ある横断歩道で信号機が赤になったので停車しました。その信号機は押ボタン式であり、もちろん対向車も停車。ランドセルを背負った小学五、六年生ぐらいの女の子が右手を上げ渡りました。ここまでは何でもない普通の光景ですが、渡り終えたこの子供は私の方に向かって、礼、対向車の運転手の方に、礼して学校に向かって行きました。

この子供はたぶん「運転手さんも急いで仕事に行かれるところを停めさせてすみません」という意味の礼だったと思います。

何でもないような光景だと言われるかも知れませんが、この「礼」は私を何ともいえないさわやかな気分にしてくれ、その日は気持ちの良い一日を過ごすことができました。

今年一年、いろいろなことがあろうかと思いますが、この子供のようになわやかな一年を送りたいものです。

(英一)